



KIPPオンライン講座
対人関係と組織の心理学 第9講義

組織の見立てとBART

Part3 権威(権限) authority

講師 川畑直人

(教育学博士・臨床心理士・公認心理師・WAWI精神分析家)

Authority

権威(権限)



BARTで組織を見立てる

Boundary 境界

Authority 権威(権限)

Role 役割

Task 課題(目的)

Authority 権威(権限)

仕事を遂行するため付与された力。(R.Heifetz)

公式の権威(=権限)

上位権限者(理事会、上司、監督者など)から与えられる。

権限に係る事項

決定 評価 採用・解雇

非公式の権威

出身、過去の業績、所属集団、資格など、さまざまな要因から生じる



権威（権限）のチェックポイント

- どの程度、明瞭に特定されているか
- どの程度、与えられた権限が、その通りに、使われているか。（過剰？ 過少？）
- どの程度、行使に必要な道具が与えられているか

非公式の権威

- 医師、弁護士、教師などの資格も、非公式の権威が付与される要因となる。



権限に関する個性

- 権限を行使する際の、その人なりのやり方がある。
- 心理特性、社会的アイデンティティ、文化的背景、などに影響を受ける。
- 例)
 - 外向的な上司：みんなにオープンに語る。
 - 内向的な上司：補佐に代わりにたずねてもらう。
- 無意識の悪影響の例：部下にどのようにみられるか不安を抱えている人。不人気な権限は延期しようとする。

スクールカースト（または学校カースト）とは、現代の日本の学校空間において、生徒の間に自然発生する人気の度合いを表す序列を、カースト制度のような身分制度になぞらえた表現。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



次の動画は

Part4

Role
役割です。



参考文献

- 1. 松原敏浩・渡辺直登・城戸康彰編 2008 経営組織心理学 ナカニシヤ出版
- 2. L. Gould, L.F. Stapley, & M. Stein 2001 The Systems Psychodynamics of Organizations. NY/Karnac Books.
- 3. Z.G. Green and R.J. Molenkamp (2005) The BART System of Group and Organizational Analysis Boundary, Authority, Role and Task(in full collaboration)
https://www.it.uu.se/edu/course/homepage/projektDV/ht09/BART_Green_Molenkamp.pdf
- 4. W. R. Bion (1961) Experiences in Groups and Other Papers. Basic Books.(対馬忠訳 1973 グループ・アプローチ サイマル出版会)